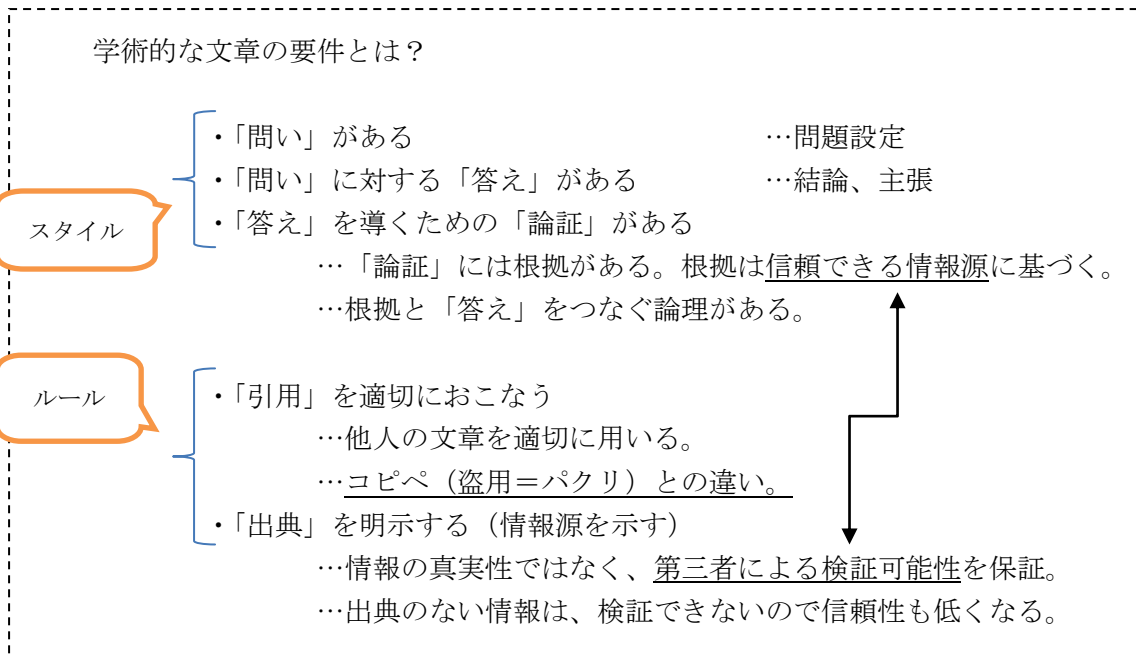
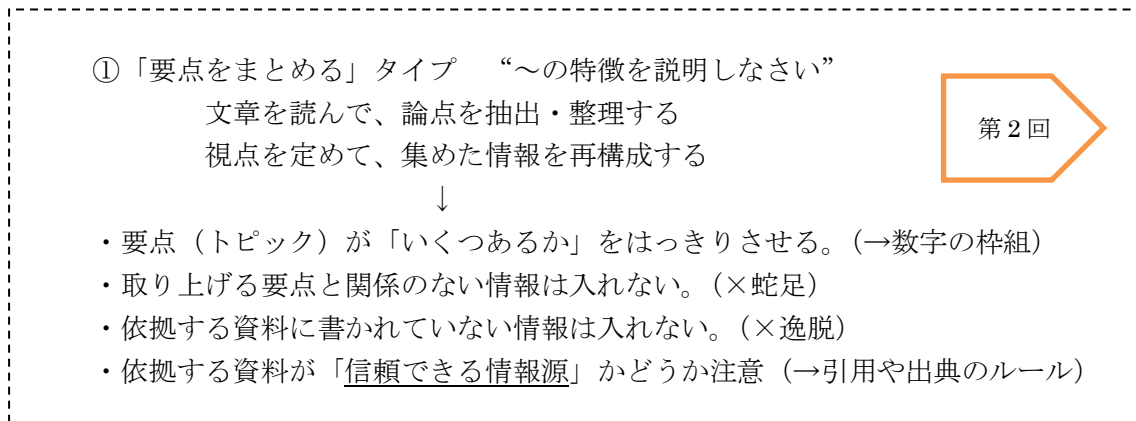


第2回「要点をまとめるタイプ “～の特徴を説明しなさい” までのあらすじ

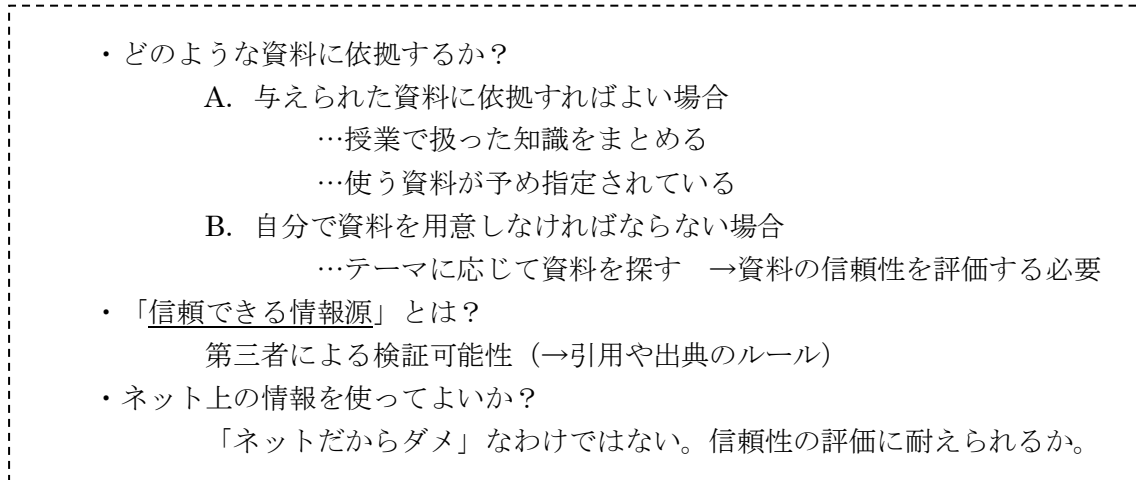
- ・レポートは「学術的な文章」である。(以下の要件は、課題により部分的に省略されうる)



- ・レポート課題で求められる「作業タイプ」には3つある。(組み合わせて出題される)



- ・レポート作成では「信頼できる情報源」に依拠する。



第3回「根拠をあげて主張するタイプ “～についてあなたの意見を述べなさい”」

12/2月（井上）・12/3火（上岡）

- ・意見を述べるときは、必ず根拠を示そう！
- ・根拠として使える情報源にはどのようなものがあるか？
- ・「AだからB、よってC」——根拠と意見を論理的につなぐ
- ・適切な引用方法と参考文献の書き方(2)

【3・1】前回のおさらい（前頁参照）

- ・「信頼できる情報源」に依拠して書く／になるように書く
第三者による検証可能性に開かれているか？（→引用や出典のルール）
レポート作成に求められる「客観性」は、この意味で用いられる

【3・2】「根拠をあげて主張する」タイプの課題文の例

（帝京大学八王子キャンパスの過去のレポート課題より。一部加工）

A 「要点をまとめる」タイプ（①）と組み合わせる

- 1 1. 「東日本大震災」（福島原発事故を含む）がこれからの日本社会に及ぼすと思われる影響のなかから 3点を選び、その理由を述べなさい。【①+②3つを選んだ理由は？】
- 1 6. （略）児童生徒の安全及び健康を保持する上で、課題を思われることを挙げ、その解決のために何をすることが必要か、自分の考えを述べなさい。【①+②課題に対応した解決策を考える！】

B 「異なる意見を検討する」タイプ（③）をめざしたい

2. TPP問題についての君自身の賛否とその理由について述べなさい。【自分の賛否だけでなく、反論しよう！】
4. 企業統治、企業倫理からみたオリンパス事件について自分の意見を述べなさい。【複数意見を競わせる！】

C A+B・・・単独の課題としては難しいが、授業で前提となる知識を扱っていることが多い

5. 欧州金融危機の基本的原因と今後の世界及び日本経済に与える影響について述べよ。【①+②(③)原因と現状の分析だけで、影響の予測はさまざま！】
9. 21世紀以降の航空産業の変化が、旅行産業に及ぼしている影響を 3点にまとめ説明しなさい。【①+②(③)航空産業の変化の分析だけで、影響もさまざま！】

【3・3】「根拠をあげて主張する」は社会でも役に立つ（できないと困る）

- ・なぜだと思いませんか？ あなたの意見を述べなさい。
...
- ・意見を求められたとき、皆が「私は～だと思いませんか？」としか言わないとどうなるか？
- ・ただし、「根拠をあげて主張する」のに適さないコミュニケーションもある。

【3・4】「根拠をあげて主張する」課題の例

課題 日本の民話「わらしび長者」を読み、この物語が子や孫に伝えようとするメッセージはどのようなものだと考えられるか、あなたの意見を述べなさい。

★ワーク（解答例を読んで、以下のポイントをチェックしてみよう）

ポイント

- (1) 自分の意見（主張）を明確に述べる ※できれば、オリジナリティも
 - ・冒頭で意見を簡潔に述べ、その理由を以下に述べる。
 - ・物語を読まなくても言える「ありがちなお題目」は避ける。（抽象的すぎ、言葉足らず）
 - ・抽象的すぎる場合は、「それはどういうことか？」を自問して掘り下げる。
- (2) 根拠（理由）を物語に依拠しながら具体的に述べる ※できれば、物語全体への目配りも
 - ・適切な部分を引用する。（直接引用／間接引用）
 - ・引用した部分を組み合わせて、自分の言葉で言い換えてみる（パラフレーズ）
 - ・物語の一部分だけでなく、全体への目配りがほしい。
- (3) 根拠と意見を対応させる（論理的につなげる） ※できれば、説得力を増す工夫も
 - ・根拠には、意見と関係ない情報を入れない。（もちろん感想も入れない）
 - ・根拠（理由）を書いてみて、あらためて冒頭の意見を見直してみる。

■「根拠をあげて主張する」タイプの解答例

（解答例1）

私はこの「わらしび長者」は、親切心の物語であると考えます。

この男は、おじいさんや女の人などに「手助けをしてくれ」と言われたわけではなく、自ら声を掛け「手を貸してあげよう」と言っている。

このように助けを求められたから助けるのではなく、自ら進んで助けることで、自分に良いことが返ってくると伝えていると思う。

（解答例2）

私は、この「わらしび長者」は、全てのものに価値があるということを伝えるための物語であると考えます。

最初、どこにでもあるようなわらしびは、折れかかった植木の役に立った。その見返りにもらったばしょうの葉は傘になり、みそはおばさんの眼の回復につながり、刀はおさむらいさんのためになり、馬は旅に出る家主のためになり、最後家は自分のためになった。

このように、ある人にとっては無駄であったものでも、困っている人にとっては、大切なものである。困っている人がいる限り、全てのものには価値があるということを伝えたのだと考えた。

(解答例3)

私はこの「わらしび長者」は交換の物語であると考えてる。

この物語には2つの重要なポイントが存在する。1つ目は貧乏な家の息子がわらしび1つで大きな家を手に入れるまでの過程である。物語に登場する息子、困っている人、わらしびや刀などは、それぞれ、販売者、顧客、商品と置き換えることができる。息子（販売者）は、価値の全くないわらしび（商品）をさしだし、困っている人（顧客）の立場にたった具体的な使用法を提示して、相手に大きな満足感を与えている。その過程で付加価値が発生するため、より大きな価値のものと交換することができた。この手法を繰り返していくことにより、最後には大きな家を手に入れることができたのである。

2つ目のポイントは家を手に入れてから長者になるまでの過程である。P170にあきない（商売）を始めた、とある。息子は1つ目のポイントで挙げた手法を使って商品に付加価値をもたせて、たくさん販売し、それが成功して長者になれたのだと、私は考えた。

(解答例4)

私はこの「わらしび長者」は、人の成長の物語であると考えてる。

貧乏な家の息子は、お金持ちの主人の元へ行くと「またお金でも借りにきよったんか」と言われていることや、最後の方の（こうなったら、まじめにはたらかにやあ。よかよか）とかっこ書きされていることから、最初はお金持ちに頼りきり、自分で外に出て働くこともしなかったためにこの息子は貧しかったのだと分かる。

お金持ちの主人はそこに主人公を外に出すきっかけを与えた。それから偶然の出会いを重ね物々交換をしていくことになった。まだその時働く気は芽生えなかったが、何度も交換をくり返すことによって、内にとどまらず外に出て経験や出会いを重ね、人との関わり合いをもつことで得があることを身体で知った。

最終的には自分から働くことを決意し、実行したことから身体的な変化ではなく“心の変化”を感じとれた。だから人の成長を描いていると考えた。

★チェックポイント

- 自分の意見（主張）が明確に述べられているか？
- 根拠（理由）が物語に依拠しながら具体的に述べられているか？
- 根拠と意見が対応しているか（論理的につながっているか）？

- より良い文章にするにはどうすればよいか？